

平成22年度 幼稚園における学校評価（自己評価）の結果について



図書コーナー（2011/9/13現在保有書籍数7,559冊）

平成22年度に四條畷学園大学附属幼稚園において実施しました学校評価（自己評価）の結果について以下の通り報告致します。

● 学校評価の実施方法

- A) 実施時期 平成22年12月
- B) 調査対象 幼稚園の教職員全員
- C) 評価項目 保育活動全般および園に対する全体的評価を行いました。
- D) 評価方法 各項目について5段階評価を行いました。記載の評点は平均点です。
 - 5：その通りである
 - 4：どちらかと言えばその通りである
 - 3：どちらとも言えない
 - 2：どちらかと言えば違う
 - 1：まったく違う

● 評価の視点

□教育理念

できない子はいません すべての子どもができます

□教育目的

自分の力で人生を切り開き、社会のために尽す子どもを育成します

□教育目標

1. 健康な子どもに育てます（体の力）
2. 自ら考え行動する子どもを育てます（学ぶ力）
3. 思いやりと優しさのある子どもに育てます（心の力）

- 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画
教職員が学校評価の評価項目を十分理解し、評価項目に沿って、自己点検、自己評価を実施することにより
教職員自らが客観的に自園の取り組みを見て、教育内容の一層の改善に結び付けていくことを重点項目とします。

【重点取り組み事項】

- A) 各学年（年長・年中・年少）別に定めた「年間目標」にすべての園児が到達できるよう教職員は各園児にあった環境を与えるべく最善の努力を尽くします。
- B) 上記Aのため、教職員は担任をしているクラスの園児だけでなく、各学年、全学年の園児を対象にすべての園児ができるよう学年主任を中心にチームとして取り組んでいきます。
- C) 保護者と幼稚園とのコミュニケーションを良好にし、子どもの成長のために家庭と幼稚園が協力して取り組める環境を作ります。

● 概 評

教職員による自己評価は保護者の方による学校評価との差異をみることにより幼稚園の課題が浮かび上がってくるように思います。保護者の方の希望通りの保育をするということは保育の本質ではありません。しかし、両者の認識に差があるものはその原因を追求し対策を取らなければなりません。今回の評価においては課題のある箇所が明白になりました。

今後、保護者の方の協力も得ながら解決策を検討していきたいと思っております。

【両者の認識に差があるもの】

5. 子ども達は生活の基本が身につけてきていると思えますか
6. 保育内容は充実していると思えますか
7. 行事について子ども達は満足していると思えますか
8. 子ども達への安全確保に注意が払われていると思えますか

【両者の認識にそれほど差がないもの】

2. 保護者との適切なコミュニケーションがとれていると思えますか
3. 子ども達との信頼関係は良いと思えますか
4. 幼稚園の環境・施設・設備は良いと思えますか

● アンケートの集計結果とコメント

教職員への質問項目と集計結果は以下の通りです。記載の評点は平均点です。

番号	質問(①保護者 ②教職員)	評点		(a)-(b)
		保護者(a)	教職員(b)	
1	①幼稚園に入園してよかったと思いますか	4.7	5.0	-0.3
	②幼稚園に勤務してよかったと思いますか			

■教職員、保護者の方ともに高い評価でした。質問は若干異なりますが総体としては良い幼稚園であると評価いただいていると考えています。今後もより良い幼稚園を目指して、教職員一同、切磋琢磨し一所懸命努力していきます。

番号	質問	評点		(a)-(b)
		保護者(a)	教職員(b)	
2	保護者との適切なコミュニケーションがとれていると思いますか	4.4	4.3	0.1

■教職員と保護者の方で認識にそれほど相違はないのではないかと思います。

番号	質問	評点		(a)-(b)
		保護者(a)	教職員(b)	
3	子ども達との信頼関係は良いと思いますか	4.5	4.5	0

■教職員と保護者の方で認識に相違はあまりないと考えています。

番号	質問	評点		(a)-(b)
		保護者(a)	教職員(b)	
4	幼稚園の環境・施設・設備は良いと思いますか	4.2	3.3	0.9

■教職員は老朽化等により設備が十分ではないとの認識です。優先順位として今は設備よりも図書や教材、職員の能力向上に力点を置くことが必要であることもよく分かっています。その結果が低い評価となっていますが、保護者の方は保育の本質をよく理解していただいているため保育上それほど設備等を重視していないのだと思います。

番号	質問	評点		(a)-(b)
		保護者(a)	教職員(b)	
5	子ども達は生活の基本が身につけてきていると思いますか	4.2	4.5	-0.3

■教職員は一生懸命指導しているため「できている」と思っていますが、保護者の方は十分でないと考えているようです。この生活の基本については幼稚園と家庭両方が取り組まなければならないことだと思います。幼稚園の時にできていないと大人になったときに本人が非常に困ることになります。保護者の方とのコミュニケーションを図り、問題の本質を確認し改善していきたいと思います。

番号	質 問	評点		(a)-(b)
		保護者 (a)	教職員 (b)	
6	保育内容は充実していると思いますか	4.3	4.9	-0.6

■保護者の方の評価に比べ教職員の評価が非常に高くなっています。この数字だけ見ましたらこの差異は自己満足とも取れる水準だと思えます。しかし一方で教職員は日々の保育に大変一懸命取り組んでいる事実です。できない子をどうしたらできるようになるのか日々考えています。できない子会議を開いてみんなで考えできるようにしています。だとするとこの差異は何からくるのでしょうか。教職員一同よく考え、適切な対策をとらなければなりません。

番号	質 問	評点		(a)-(b)
		保護者 (a)	教職員 (b)	
7	行事について子ども達は満足していると思いますか	4.4	4.9	-0.5

■No6とほとんど同じです。

番号	質 問	評点		(a)-(b)
		保護者 (a)	教職員 (b)	
8	子ども達への安全確保に注意が払われていると思いますか	4.1	4.5	-0.4

■No6と同じ状況です。

番号	質 問	評点		(a)-(b)
		保護者 (a)	教職員 (b)	
9	制服は良いと思いますか	4.6	4.9	-0.3

■教職員の評価が保護者の方よりも高くなっておりますが、認識に大きな差はなく、幼稚園の制服は評価していただいているものと考えます。

● 学校関係者評価委員会（*）の意見

質問1の通り、当幼稚園に対する満足度は非常に高く、学校評価についても園の評価と保護者との認識に差異はないとの意見をいただきました。また、23年度から2か月に一度実施している全保護者から保育等に対する意見をいただいている取り組みについても合わせて高く評価いただきました。

（*）学校関係者評価委員会

当幼稚園の保護者5名により構成されています。